

平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		3014 05		
基 本 事 項	事務事業名	手話通訳者育成・派遣事業		所管部署名	健康福祉部 社会福祉課 自立支援係			
	事業期間	平成5年度 ~ 未設定	事業年齢	15歳	事前評価責任者	岡田忠篤	連絡先	048 - 982 - 9530
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	障害者自立支援法			
	事務事業の性質	毎年繰り返し		執行方法	一部委託 <small>通訳派遣・埼玉聴覚障害者情報センターへ委託 養成講座・吉川市聴覚障害者協会へ委託</small>			
	基 本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
		大綱	元気でやさしさあふれたまちづくり(健康福祉部門)		歳 出 予 算 科 目	事業名	社会参加支援事業	
		大柱	みんなが支えあう障害者(児)福祉の推進			会計区分	一般会計	
		中柱	社会参加の促進			款	民生費	
		小柱	社会参加のための支援			項	社会福祉費	
	第4期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	目		障害福祉費		
個別計画の位置付け	計画名	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	障がい者計画	前年度の事務事業有無・管理番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	301405		
事 目	対象(誰を、何を)	①全市民(手話を学びたい、習得したい) ②吉川市で手話通訳として活動したい方 ③聴覚障がい者で手話通訳や要約筆記を必要とする方		手 段 (どのような事業を行うのか)	①、②手話通訳者養成研修会(応用課程)を実施し、通訳者となる人材を育成する。 ③手話通訳派遣及び要約筆記者の派遣が必要な方は、市において登録申請を行い、派遣の予約を情報センターにFAXする。利用者は、通訳の派遣を受け、派遣費用は、情報センターから市に請求する。			
	対象年齢	00	99		全年齢	事 務 事 業 を 取 巻 く 環 境 の 変 化 ・ 実 施 上 の 課 題	障害者自立支援法の施行により、手話通訳者の派遣事業などコミュニケーション支援は、平成18年10月から市町村の必須事業となったため、市内における手話通訳者の育成・確保が急務である。	
的 意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	①ボランティア団体への登録者が増えるようになる。 ②地域に手話通訳派遣事業の担い手が増える。 ③聴覚障がい者のコミュニケーションが容易なるとともに、情報の伝達が行える。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	埼玉県手話通訳士養成講座						
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	650902	手話講習会委託契約					
事業関連ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/9,820,53,329.html						

区分	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度			平成21年度	平成22年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	449	1,678	1,876	1,700	22	1,498	1,498
	② 人件費	844	516	521	168	-348	168	168
	正職員直接投入人員	0.09人	0.06人	0.06人	0.02人	-0.04人	0.02人	0.02人
	正職員間接投入人員	0.01人						
	③ 間接経費(加算)							
④ コスト対象外(除外)								
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,292	2,194	2,397	1,868	-326	1,666	1,666	
資 源	⑥ 国庫支出金	136	644	938	663	19	749	749
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2	0	1/2	1/2
	⑦ 県支出金	68	351	469	331	-20	374	374
	県補助率	1/4	1/4	1/4	1/4	0	1/4	1/4
	⑧ 市債							
⑨ その他								
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)								
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,088	1,199	990	874	-325	543	543
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 講習会申込者数	人	10	6	6	6	6
	手話通訳者をめざす市民		6	5	6	6	6
②	聴覚障がい者	人	76	79	82	88	91
	身体障害者手帳所持者のうち聴覚・平衡機能障がいのある方		76	79	85	88	91
活 動 指 標	① 手話講習会開催回数	回	17	17	22	12	17
	一講座あたりの総回数		17	21	22	12	17
	② 手話講習会受講者数	人	7	5	5	4	5
	受講者実人数		6	5	5	4	5
③	講習会修了者率	%	80	80	80	80	80
	参加者中修了書の交付を受けた割合		67	100	100	80	80
成 果 指 標	① 登録手話通訳者数	人	0	0	0	0	0
	手話通訳派遣事業の通訳者確保数		0	0	0	0	0
	② 手話通訳者派遣回数	回	30	30	40	53	53
コミュニケーション支援事業利用回数	27		47	53	53	53	

業 績	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション
		活動結果	① 手話講習会開催回数	増加することが良いとされる指標	100.00%	123.53%	
成果達成度	② 手話通訳者派遣回数	増加することが良いとされる指標	90.00%	156.67%	132.50%		
結果	② 手話講習会受講者数	増加することが良いとされる指標	概ね達成された	達成された	達成された		
効率性	② 手話講習会受講者数	単位当たりコスト	トータルコスト×1,000円	平成19年度	平成20年度	↑	
説明	手話通訳者を養成するための講習会であるため申込者は少ないが、意図を達成するための手段としては、評価することができる。平成17年度から手話通訳者育成は市が、初めて手話を学ぶ方を対象とした入門的な段階は、市社会福祉協議会が実施するなど、役割分担している。また、障害者自立支援法の施行により、コミュニケーション支援は、平成18年10月から市町村の必須事業となり、県から事務が移行したため、埼玉聴覚障害者情報センターへの委託・派遣に伴う費用が増加した。		単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)		-14.87%	コストが減少している	

官 民 役 割 分 担 評 価	公共性		実施主体の妥当性		市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	提供の対象者の偏りもない、突出した必需性も見当たらないサービス	政策的及び専門性について、中間に位置するサービス	必要性	行政専門性		
<p>②必需・私益 (緑)</p> <p>①必需・公益 (青)</p> <p>③選択・私益 (赤)</p> <p>④選択・公益 (緑)</p>	<p>②経常的行政専門性 (緑)</p> <p>①政策的・行政専門性 (青)</p> <p>③経常的・一般専門性 (赤)</p> <p>④政策的・一般専門性 (緑)</p>	改善の必要性	改善の必要性	低	低	

事 業 性	区分	評価	評価判断理由	
			役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり
目的(対象・手段)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	市は、市聴覚障害者協会の協力を得て、手話通訳者育成事業を実施していく。また、必須事業となったコミュニケーション支援事業のうち、手話通訳者及び要約筆記者の派遣については、埼玉聴覚障害者情報センターに委託していく。		
意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	これまでの方法では、ボランティアは増えても手話通訳者は育成されず、意図の達成が不可能であったため、17年度以降は、手話通訳者養成の意図を達成するための手段を実践した。		
有 効 性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	入門レベルの実施は、参加者が多いものの、継続的に取り組む人の割合も限られてくるが、講座内容のレベルが上がると、継続的に活動する受講者の割合は上がる。	
上 位 施 策 へ の 貢 献 度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	第2次障がい者計画では、手話通訳派遣事業の実施を位置付けており、手話通訳者の養成講習会は、上位施策に大きく貢献するものである。		
効 率 性	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	講座のカリキュラムも厚生労働省の基準がある。謝礼金は、埼玉県聴覚障害者協会と手話通訳研究会が基準額を決めているので、大きな改善は難しい。	
受 益 者 負 担 の 適 正 化 余 地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	テキスト代と保険料のみを徴収している。		

これまでの事業の改善状況と内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input type="checkbox"/> 改善した事項は、ない
二ズ等の状況と課題	障害者自立支援法の施行により、手話通訳者の派遣事業などコミュニケーション支援は、平成18年10月から市町村の必須事業となるため、地域における手話通訳者の育成・確保が急務である。
今後の改革改善策	平成21年度を目標に、手話通訳派遣の体制を整備し派遣する計画であったが、手話通訳者が育成できず関係団体との調整もあるため、21年度実施は困難である。
改革改善により期待される効果	本市が25年間手話講習会を続けてきても通訳者が1人も育成されなかった。身近な市で手話通訳者の派遣が実施されれば、聴覚障がいのコミュニケーションが保障され安心して地域生活が送れるようになるとともに、社会参加がしやすくなる。

今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する
「今後の方針」の説明(計画内容等)	なるべく早い時期に手話通訳派遣事業が開始できるよう、関係団体との調整や実施体制を整備していく。

一次評価日	平成21年6月26日	一次(事後)評価責任者	関根 勇
二次評価	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する		
二次評価日			